

## エバーグリーン金岡の楽しいコミュニティ喫茶



エバーグリーン金岡は、堺市北部にある住戸数 540 戸、7棟からなる団地タイプのマンションで、築 40 年が経過しています。団地内には、スーパーマーケットやデイケアセンターもあり、地下鉄駅、病院、公園、緑地など周辺環境にも恵まれています。マンションの集会室では、月に一度、楽しいコミュニティ喫茶の活動が行われています。2月は手づくり花びら餅とお抹茶、3月はひな祭り昼食会、4月は手づくりイチゴ大福、5月はたい焼き、6月は水ようかん、7月は昼食会、10月はたこ焼き大会、12月はクリスマス会等々、その他の月も喫茶コーナーをはじめ、手づくりの弁当、豚汁やけんちん汁付の昼食会が開かれ、マンション住民の交流の場として定着しています。

この活動は、自治会の新聞に住民から投稿された「エバーグリーン大学についての提案」が切っ掛けになっています。それは、住民がお互いに自分の持てる能力について物々交換すれば助け合えるのではないか、という内容でした。そこで、記事に共感した住民が何度か集まりを持ち、話し合いをするうちに「井戸端会議をする場所として喫茶店を開催してはどうか」ということになり、最初は、コーヒーメーカー 1 台から始めたそうで、現在はエバーグリーン金岡ボランティア協会という名称で活動を続けています。ボランティアには、民生委員の方を中心として 10 名の方が参加しており、50 代から上は 80 代の方が奮闘されています。運営資金は、社会福祉協議会から小地域ネットワーク事業として年間数万円の補助

金と、毎年、マンション内で盛大に開かれる夏祭りでの模擬店の売り上げがよりどころになっています。当初はできるだけ多くの方にコミュニティ喫茶に来てもらえるようにと、コーヒー、紅茶、お抹茶、食事も手づくりでこだわり無料にしていたそうですが、参加者からかえって気兼ねなく利用できるからという声もあり、現在は有料化しているそうです。

コミュニティ喫茶を訪れる多くの方は、やはり高齢の方で、世間話、情報交換、仲間同士の連絡の場として、思い思いに活用していただいているようです。民生委員のボランティアの方が、独り暮らしの老人を見守る場としての役割も担っています。メニューによっては赤ちゃんを連れた若いご夫婦やお孫さん同伴の方が参加されることもあります。

エバーグリーン金岡の集会室は、コミュニティ喫茶の活動以外にも、卓球などのサークル活動などの拠点となっています。そして、夏休みには集会室の前のピロティを活用して盛大に夏祭りが行われています。大道芸、ヨーヨー吊り、カブトムシ、焼きそば、そしてコミュニティ喫茶のおでんの炊き出し、大規模マンションの共用空間とマンパワーをいかしたお祭です。そこには、子育て世代の家族からシルバー世代までが集う、一年中で一番にぎやかな声があります。

(主任専門委員 北村順一)